



大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

外務部
第百九號

明治十四年七月十四日

外務部参儀
長沼古

子弟外務省員在英園之波羅精舎
書

右候之賢候也

1151

114
A 101





外務部

公第一五九七號

在露國我公使彼手瑞典國改法
概畧送附有之其如例寫一俾進
達此也

外務部代印

以名而事有自

外務部補上野章



太政大臣三條實美殿

七月九日

外務部
受付

乙一三四

外

瑞典國政治概略

卜
齊
首

夕
承
以

瑞典國政治概略

目次

憲法

內閣

官職

爵号

七省

國會

一院

二院

司法

裁判所

刑例

財政

歲出入

國債

鐵道

地方自治

郡村

市街 地方財政 人頭稅

財產 歲入

以上

瑞典國憲法行政司法財政概略
憲法

○西歷紀元千七百十八年チヤレス第十二世皇帝崩殂ハ以テ瑞典國內治外政一新ノ時期トス父皇是帝在世中ハ帝權旺盛ニシテ全ク專制タリ然レモ當時ノ輿論ハ以テ為ク專制已マスンハ早晚必ス及テ對ノ極點ニ至ルヘシト○帝崩殂ノ後政權ハ全ク國會ニ歸シ帝長ニ元老院(貴族院)ハ惟國會ノ議定ヲ施行スルノ職務ニ過キ大然レモ此自由政治モ人民ノ期シタル幸福ヲ冀ル能ハス再未國內上下ノ人民只政黨アルヲ知テ他ヲ知ラズ軌轢爭論以テ國內四方五裂シ商

工ノ産業疲衰シ人民途炭ニ苦ミ其紛乱實ニ慮止スル所ヲ知ラス

○ガスタバ三世帝ノ位ニ即クヤ千七百七十二年大ニ發憤シ國政ヲ改革シ地紛擾ヲ一撃ニ鎮壓ス新政ノ目途ハ國家憲法ヲヤレヌ第十一世帝前ノ古道ニ復セント欲スルニ在リ千七百八十九年京國聯合安寧ト云詔書ヲ発シ以テ自ラ專制帝ト為ル然レモ是舉タルヤ偶々以テ國民ノ激動離及ラ招キ終ニ帝ハ弒逆ニ逼ヒ大子ガスタバ第四世ハ瘡セラレタリ其後千八百〇九年國會ニ於テ新憲法ヲ議定シ帝ノ批准ヲ得テ國內ニ頒布ス尔来左ノ三大憲法ヲ以テ瑞典國ノ新政府ハ漸次ニ基礎ヲ鞏固ニス

國會代議法

千八百十年二月定

皇統繼續法

千八百十年九月定

印刷出版自由法

同 年七月定

以上三大憲法ハ代議法ヲ除クノ外ハ現今行ハル所ナリ○千八百十五年那威國合併ノ憲法ヲ定ム○瑞典國政治ハ所謂立憲君主政治ナリ○帝位ハ帝ノ嫡子孫ニ傳フ嫡子孫ナキ時ハ最近ノ皇族ニ傳フ○皇族ハ文官ニ任スルヲ得ス但シ公爵ヲ帶ヒタル皇族ニシテ其爵地ノ政權ナキモノハ此限ニ在ラス○白王帝ハルサルグロ衝スタント宗ノ徒タル一シ○皇帝ノ尊體ハ神聖ニシテ侵スヘカラス其行作ハ法律ノ間フ所ニアラズ○皇帝ハ憲法ニ據テ國政ヲ執行ス○皇帝ハ常ニ内閣議官ニ諮詢

シ其評議ヲ聞クヘシ○皇帝ハ内閣議官ヲ任ス
内閣

○内閣議官ハ瑞典典産ミテオカ知識者ヲ經
験アリ且ルサール宗ノ徒タルヘシ○内閣議官ハ
十人ニシテ皇帝ハ其内一人ヲ特選シ國務宰相
ト為スヘシ○國務宰相ハ内閣ノ長官タリ○内閣
議官ハ必ス内閣會議ニ列席スヘシ○父子兄弟二人
以上同時ニ内閣議官タルヲ得ス○内閣議官七
人ハ各省ノ長官ト為リ各自擔任ノ事務ヲ轄
告シ其責ニ任スヘシ○七省ハ則外務司法陸軍
海軍内務大藏宗寺勅教ヲ月ホナリ○他
ノ三議官ハ擔當ノ省ヲシ三員ノ内少クモ二人ハ
必ス曾テ文官ヲ經歷セシ者タルヘシ○凡百ノ行

政事務ハ必ス内閣ニ於テ皇帝ニ奏問シ裁決ヲ
仰クヘシ但シ別ニ簡易ニ事ヲ所ケサルノ法方アリ
例ハ外交事件并ニ陸海軍事件、如キ皇帝
ノ独斷スルモノアリ皇帝ハ即ケ陸海軍大元帥
タルヲ以テナリ○緊要ノ事件ニ付テハ内閣議官
ハ成レハ悉皆列席ス女モ擔任者ト共ニ四人ハ列
席セサルヘカラス○凡ソ内閣皇帝ノ御前ニ於テ
事ヲ評議スルニ必ス口頭ヲ以テスヘシ毎件各
員意見ヲ陳述セサルヘカラス但シ其裁決ノ權ハ
皇帝一人ニ在リ○若シ内閣議官ノ内其裁決ヲ
以テ法律ニ違背スルト認ル者ハ色ヲ正シテ其理
由ヲ述ベ之ニ抵抗スルノ義務アリ○若シ擔任者
其裁決ヲ以テ憲法ニ違背スルト認ル時其議

ト
務
小
省

太子十年
十八日

宰若シクハ施行状ニ裏印スルヲ拒ミ且職務ヲ抱
キテスルノ權アリ猶官俸ヲ給シ國會ニ於テ是非
ヲ議定スルヲ族ツノ皇帝瑞典那威ノ境外ニ出
ルキハ丁年ノ太子若クハ帝位繼承人ヲ以テ攝政
トス若シ丁年ノ太子若シ白王族ナキハ内閣ニ於
テ攝政ノ權ヲ執行スルノ皇帝若クハ攝政戰時
ニ臨ミ又ハ那威國又ハ他ノ遠國ニ旅リスル時ハ
内閣議官三人兵ニ白王族若クハ議官一人ヲ以テ其
長ト為シ國政ヲ攝セシム其權限ハ白王帝若クハ
攝政ノ定ムル所ニ從フ

官職ヲ任シ爵位ヲ與フ

白王帝ノ司法權ハ一高等法院ニ於テ行フノ最
上ノ司法官ハ則大検事プロキユレトールナリ大検事

ノ職務ハ皇帝ノ名ヲ以テ國家ノ權理安寧ヲ
保護シ法律ノ適合必施ヲ監視シ兼ニ法官
兵ニ諸官員ノ非違ヲ檢査シ以テ相當ノ一審討
ヲ督ス○國會ノ任スル大検事アリ國會大
検事ト云位地職務都テ皇帝ハ大検事ニ同
シ只國會ノ令ヲ奉ス○皇帝ハ内閣ニ於テ要
緊ナル文官ヲ任ス其位階軍サ○白王帝ハ左ニ列
記スル官吏ノ外ニ之ヲ放免スルヲ得ス尤自己情
願ニ依ルハ格別ナリトス

内閣議員 行政諸局長

行政諸上長官凡我勅任以上ニ 聯隊指令長官
同等文官 外務省諸官員

是ホノ諸官員ハ皆國家信任ノ職員ト云○信

Appointed by
Commission

任職員ノ放棄ハ必ス内閣ニ於テ施行ス○自蘇
 ノ官吏モ之法官奏任以上ノ者ハ前以テ糾弾
 シ罪状明白ノ裁判ニ依ルニアラサレハ放棄スルヲ得
 ス且本人ノ情願ニアラサレハ他へ轉任スルヲ得ス○
 外國人ハ庶子校医術ノ博士タルヲ得并ニ陸軍士
 官タルヲ得ルトイヘ凡 砲臺ノ指令長官タルヲ得
 ス○宗廟ノ信仰ハ内閣議官并ニ神學博士ノ外
 ハ之ヲ論セス○宮内ノ官吏ハ皇帝ノ好惡ニ依テ任
 免ス○皇帝ハ貴族ノ爵号ヲ付與ス然レモ千八百
 六十六年貴族院ニ廢セシヨリ以來貴族ハ名目ニ
 ニテ其實西女ナキヲ以テ又新規ニ命スルヲナシ
 ○皇帝ハ賞牌ヲ付與スルノ權アリ其勲章五
 種アリ

一 セレヒン 藍帶
 二 劔 黃帶
 三 北極星 黒帶
 四 ヲツカ 淺黃帶
 五 ナヤレス十三世 赤帶
 右ノ外那威國ニ屬スルモノ一種アリ「聖」ヲロフト云

七省

行政官ハ七省ニ分テ各首皆官房アリ陸海軍
 ノ二省ハ各々二官房アリ其一ハ全ク軍務ニ屬
 スル事ヲ掌ルハ行政ノ事務ヲ掌ル○官房各
 ヲ長アリ外務省官房長ハ内閣書記官ト云各省
 皆又數局ニ分テ各局皆長アリ之ヲ稱シテ執行
 官ト云「事務」ヲ直ニ執行スル意ナリ「各々書記
 官」アリ屬官アリ之ヲ補助ス各局長ハ其委任セ
 ラレタル事務ニ於テ之ヲ決行シテ後ニ其長官

報告スルノ権アリ

以下各省ノ事務ヲ分析ス

○司法省、裁判所、獄舎、印刷局、国民公限ホ、事務ヲ管理ス

○外務省、外交事務ニ付瑞典、挪威、西國ニ通シテ之ヲ管理ス其領事官、西國ニ通シテ

事件ハ之ヲ指揮ストイハ其瑞典、西國ノニニ關スル事件ハ高法院、管理スル所ニシテ即内務省ノ

所屬、其那威國ニ關スル事件ハ即ケ那威國内務省ノ管理スル所ナリ

○陸軍省、陸軍旅團ノ組織、軍人軍屬

砲台ホ、事務ヲ管理ス其事務分四局ニ分ツ

- 第一 砲銃 砲兵
- 第二 建築 工兵
- 第三 會計
- 第四 秘書 軍備

○海軍省、海兵、沿海水先、燈明、標旗、海

面測量、航海指揮、ホ、事務ヲ管理ス

○内務省、農業、鑛山、高法、航海、製造所職

工、道路、鉄道、溝渠、地方警察、其他一切ノ

事務他省ノ管セサルモノハ皆本省ノ管理スル

所ナリ

凡ソ本省ノ管理スル事務ヲ概別スルヲ左ノ如シ

公証者理事官 中央統計局 高法院 鑛山ヲ管ス

金物工、高賞 航海、發明免許 權衡度量局

地質、地理測量 地學協會 農學校 經濟協會

牧畜監督

道路橋梁

運渠會社

○地方ノ行政ハストツイノホルム府知事花二十四縣令ニ任ス皇帝ノ代理指令官ト稱ス知事令不在ノ時ハ中地書記官及會計長ト連シテ事務ヲ代理ス

二十四縣ヲ分テ百十七郡ト為シ再ヒ分テ五百二十四區ト為ス市街ノ行政及裁判事務ハ所代一人助役數人ヲ以テ之ヲ掌ル之ヲ所裁判所ト云ハ地方ノ政治ハ猶下ニ詳ナリ

○大藏省ハ燒酎及砂糖製ビツル製造ヲ監督シ其稅ヲ納メ内地島稅外ニシテ造幣銀行稅關郵便電信

官林官有地ホノ事務ヲ管理シ毎年歲出

入豫算ヲ作ル

凡ソ大藏省ノ指揮監督ニ屬スル大小ノ諸官左ノ如シ

大藏省

官有地及ニ地租ノ事ヲ管ス

出納局

公金出納ヲ高キリ金銀貨幣監督ス

會計検査局 會計精算ヲ検査ス

電信局 郵便局 稅關局 官林官有建築

物局等

七
○官有兼教育者ハ寺院僧侶貧民救助及大中小學校技術學校會計秘書記録局書籍館博物館醫藥局在其他一切官有ニ關スル事務ヲ管理ス

事務省

○國會

瑞典國古昔ノ國會ハ四等ノ人民即ク貴族僧侶高貴、中民ヲ以テ組織セリ然ル所千八百六十年總會協同ヲ以テ此國會ヲ度シ更ニ新憲法ヲ定メ國會、代議法ヲ創設ス○國會、瑞典人民ノ代議士ヲ以テ組織シタル第一院第二院ト為ス○兩院ノ地位權利ハ同等ナリ○國會、毎年一月十五日ヨリ五月十五日迄ヲ通常會トス○皇帝ハ臨時會ヲ開クヲ得○兩院、代議士ハ各豫定ノ任期アリ然レモ皇帝ハ任期内トモハ兩院共ニ解散シ又ハ偏ニ一院ヲ解散シ以テ新ニ選舉ヲ年スルヲ得

第一院ノ議員ハ九年ヲ以テ一期トシ市街住民

瑞貨八万コロ
ハ我銀貨也
二万四千円

二万五千以上一人ニ市街郡村共ニ三万人毎ニ一人ト定メ本人ノ住所ニ關セテ政治會所及市府會所ホニ於テ選舉ス(政治會所市府會所ハ下ニ詳ナリ)

第一院ノ議員タルヲ得ル者ハ左ノ簡條ニ適合スルモノトス

○年齒三十五以上○選挙前少クモ三年間八万コロ以上ノ土地ヲ所有セシカ者ハ四万コロ(我銀貨凡ツ今二百円)以上ノ歳入アル者

第一院ノ議員任期申財產ヲ減シ前ニ掲載スル員額不足スル時ハ必ス議員ノ外限ヲ失フヘシ○第一院ノ議員ハ選舉ノ時若クハ任期中何時ニテモ其職ヲ辞スルヲ得○第一院議員ハ日當若クハ半當

金ヲ給セス

〔第一院議員現今八百七十一年百三十三人アリ〕

第二院ノ議員ハ三年ヲ以テ一期トシ裁判區毎

ニ一人若シ該區住民四万人以上ナル時ハ二人及

市街ハ住民一万人毎ニ一人トス〇住民一万余人以

下ノ市街ハ地ノ選舉區ニ合併ス〇第二院ノ議員

タルヲ得ルモノハ左ノク條ニ適合ノ者トス

① 年齢廿五才以上 ② 該地市郡邑參政權有ル者

③ 三千コロン以上ノ土地ヲ所有スルカ若クハ六千コロン

以上ノ土地五年以上借用セシカ若クハ八百コロン以上

ノ歳入マル者

④ 該市郡ニ一年以上住居セシ者

〔選舉者ハ被選舉者ト同格ナリ但年齢二十才ニテ

六千コロンハ銀貨
千八百円
八百三十円
二百四十円

足レリ〕〇各選舉者ハ二名以上ヲ選舉スルヲ得〇

兩院ニ同時ニ選ハル者ハ本人ノ望ニ依リ何レカ一

院ノ議員タルヘシ〇第二院ノ議員ハ其職ヲ辭

スルヲ得又之ヲ放棄スルヲ得ス但シ左ノ理由ニ

依ルハ格別ナリ

① 疾病 ② 議院ニ於テ糾彈罪狀明白宣告

ヲ受ケシ者

③ 年齢六十才以上

④ 曾テ三四回以上通常會ヲ勤メシモノ

第二院ノ議員ハ該費ノ外毎會期四ヶ月間ニ端

費千二百コロン〔一月十コロン即三帛〕日當トシテ給ス

現今議員總計ハ千八百七十九年二百〇四人

ナリ

瑞典ニハ官ノ候補者ナシ又ハ選定人費
ヲ要セス○議負任期中欠員アリ之ヲ補フ
為メニ選レタル者ノ任期ハ本議負ノ任期ト
共ニ終ル者トス 西院ニ係ル ○西院ノ議長副議
長ハ各院ノ議負中ヨリ皇帝ノ特選スル所ナ
リ○國會ノ議負ハ憲法ノ外ニ遵守スルヲナシ
各自發議自由ノ權アリ

○凡ソ國會ニ附スル議案ハ先ニ委員ニ於テ
之ヲ審査シ議案ヲ式ノ如クニ作り然ル後議
場へ出スモノトス議案ノ種類ニ依リ各ニ委員アリ
即左ノ如シ

○憲法委員二十人 凡ソ憲法ニ關スル疑問
及内閣評議ノ疑問ヲ審査ス

○財政委員二十四人 歳出入豫算ヲ審査ス

○租稅委員二十人 關稅郵便稅材木稅

燒酎稅砂糖稅 歳入稅 財產稅ノ疑問當
査ス

○銀行委員十六人 瑞典國立銀行ノ疑問ヲ
審査ス

○立法委員十六人 憲法外ノ法律ヲ審査ス
兩院ハ各ニ委員ノ半数ヲ選任ス或ハ兩院ニ於
テ要用ナリト認ル時ハ特別委員ヲ置キ以上列
記スル所ノ事件ヲ審査セシムルヲ得○若シ一院
ニ於テ前ニ列記シタル委員外ノ事ヲ發議スル時
ハ該院ニ於テ特ニ委員ヲ選ビ其議案ヲ審
査セシムルヲ得

内閣議官ハ兩院ニ列席シ登議討論スルヲ得
但シ其議真ニアラサレハ可否投票ノ數ニ入ルヲ得
ス○議長議場ニ向ヒ一動議ノ可否ヲ問フハ各
員皆可若クハ否ヲ以テ答フヘシ若シ議員ノ内
公然タル投票ヲ望モノナキハハ必ス秘密投票ヲ以テ
決スルモノトス

一議案兩院ノ議定不同ナルハ該議案ヲ適
任ノ委員ニ送ル委員ハ兩院ノ主義不同ナル所
以テ審査シ成ルルハ双方調和ノ新議案ヲ作り
以テ之ヲ各院ニ送ル

一議院ニ於テ否ト決シタル議案ハ都テ産業
トス但シ歳出入豫算ハ此限ニアラス○歳出入豫
算ノ議案兩院同意セサルハ兩院合併ノ會

120000

議ニ付シ可否ヲ決ス

國會ハ二箇ノ行政事務ヲ管理ス一國會立銀行局
ニ公債局兩局各七人ノ議員ヲ以テ之ニ任シ每會
新選スルモノトス○每會會計勘正員十二人ヲ選
舉シ兩院各々六人ヲ以テ國會ノ出納決算ヲ勘正
員ハ八月十五日ニ國會議ヲ始メ十月十五日迄ニ勘
正ヲ終ルモノトス出納決算勘正後尙會計檢
査員ノ検査ヲ受テ始テ完結ノモノトス(大藏省
ノ部ヲ參觀スヘシ)

國會ニ於テ官吏ヲ糾彈スル權ハ則國會大換事
ニ委ス

寺院宗旨ノ立法ハ僧侶會議ノ議定ヲ經ルモノトス僧侶
ノ會議ハ六十人内三十人ハ僧徒三十人ハ俗人ナリ僧侶會

議ノ組織方法ハ緊要ナラサルヲ以テ之ヲ畧ス

司法

瑞典國憲法ハ皇帝ヲ二回ノ通常國會其二回ハ新撰第二院協同一致スルニ非レハ之ヲ修正シテシクハ廢棄スルヲ得ス。○民法刑法ノ修正廢設ハ皇帝與國會ノ同意ヲ以テ之ヲ施行ス

國內ノ經濟衛生諸會社ハ凡ソ行政ニ關スル法律規則ヲ決定スルノ權ハ獨リ皇帝ニ屬ス。國會ハ其意見ヲ陳述シ願望ヲ奏上スルニ過キス。○若シ政府ヨリ行政ニ關スル疑問ヲ國會ニ諮詢スルハ則國會ニ於テハ通例立法ノ規則ニ從テ之ヲ議定ス

瑞典國現行法律ハ千七百三十四年ニ定メシモノニテ政體維也各國ニ比スレハ四維馬法ノ精神ヲ受ケルノ最モ多シ。多クハ古各郡村ニ行ハル所ノ慣習風俗ヨリ來ルモノナリ。千四百年代ニ於テ郡村法市街法ノ二編ニ分ツ以後此等ノ修正ヲ經タレトモ三百餘年間龍襲行セリ。終ニ千七百三十四年ニ於テ新法律一編ヲ決定ス。新法律ヲ九部ニ分ツ

- 第一 婚姻法
- 第二 相続法
- 第三 地主法
- 第四 郡村法
- 第五 商法
- 第六 皇位法
- 第七 輕違警
- 第八 四討例
- 第九 訴訟法

Royal court or
Court of second
instance

事ニ在リ然レモ判事補悉比自判事ノ意見ニ
 不同意ナル中ハ則判事補ノ意見ヲ以テ判決
 ス(此判事補ハ英國ノ大陪審^{グランジレ}ニ似たり或
 ハ同根元ナラン) 訟者之^レ現今郡裁判所ノ數ハ都テ
 百〇八ヶ所アリ郡裁判所ノ區域ヲ裁判區ト云裁判
 區或ハ數ヶ區ニ分ツ所アリ各十區又ハ區裁判所ノ
 如キモノアリ各ヶ區裁判所ヲ合テ三百餘ヶ所アリ
 ト云市街ニ於テハ巡査^{パトロール}在所ノミヲ以テ五區
 裁判所ニ定ムル所アリ)

宗旨^ニ軍律^ニ初審^ハ寺院ノ庫裏ニ於テ官
 理^シ軍律^ニ關スル 初審^ハ軍律初審裁判
 所ニ於テ裁判ス

皇^帝裁判所一名控訴裁判所ハ全國ニ三

判事ハ皇
帝ノ特命ニ
所ナリ

新法律ハ新刑法新軍律ヲ除ク外ハ此ニテ
 修^リ正^スノミニテ當今日ニ行ハル所ナリ○新刑
 法ハ千八百六十四年ニ頒布シ以テ皇^帝四
 罪^ニ違^ハ警^告四罰例^ヲおノ旧法ヲ廢ス新
 軍律ハ千八百六十八年ニ頒布シ旧軍人
 條^款ヲ廢ス

裁判所

バゴマスタール

初審裁判所市街ニ於テハ町代一人助
 役數人ヲ以テ組織ス之ヲ町裁判所ト云
 ○郡村ニハ判事一人判事補十二人ヲ以テ
 組織ス之ヲ郡裁判所ト云^{デス}トリックト^コ 判事
 補ハ該郡村土地所有ノ農民ニシテ曾テ事
 ニ經驗アル者ヨリ選任ス判決ノ權ハ獨リ判

Special court
of
the court of the kingdom

査査員ニ下シ下等裁判所ノ判決ヲ審査修正セシム
臨時法院一名王國法院ト云ハ内閣議官及高等法院評
議官ノ公選ヲ審判ス十八百〇九年新憲法頒布以來
臨時法院ニ於テ受理シタル案件ハ甚稀少ニシテ有四派
ノ宣告ヲ為シタルハ未ダ曾テアラス
瑞典國ニ於テハ外國ニ行ハルル如キ代官人ナレ陪審員
レハ印刷出版犯則者ヲ裁判スル時ハ外ハ用井ス

刑例

死刑 首ヲ斬離ス
懲役 無期 有期 二月ヨリ十年ニ至ル
禁獄 一月ヨリ二年ニ至ル
罰金 五コロン(弗)キ(キ)ヨリ五百コロン(百五十弗)ニ至ル特別
ノ件ニハ千コロンニ上ルヲアリ(三百弗)

Supreme court
Court of last instance

ケ所アリノ皇帝裁判所ハ所長一人判事ヲ三判事
補數人ヲ以テ組織シ最課ニ方ツ〇皇帝裁判
所ハ民刑初審裁判ノ控訴ヲ受理シ死刑ノ
裁判ヲ宣告シ法官并ニ諸官吏ノ公選ヲ初
審裁判ス
軍律控訴裁判所一ケ所ストックホルムニ在リ以テ軍律初
審ノ控訴ヲ受理ス
租稅若クハ區費ノ爭論ハ會計検査官於テ控訴ヲ受理ス
高等法院(即終審裁判)一ケ所評議官十六人トシテ
二白ニ分テ上告ヲ受理ス軍律ノ上告ニ將官二名列席
ス〇高等法院ハ皇帝親臨スルモノトス故ニ判決宣告ハ
白皇帝ノ名ヲ用ニ皇帝ハ判決ニ付二名ノ權アリ〇高等
法院ニ審査員アリ此ノ本院受理スル所案件ハ先ッ審

○不能力者ニシテ罰金ヲ拂ヒ得サル時ハ禁獄水麩ノミ
 ヲ給シ三日ヨリ二十日ニ至ル或ハ通常禁獄九日ヨリ十日
 ニ至ルヲ以テ折換スルアリ
 官吏ハ死刑ノ外輕重ニ依リ放免若クハ期日ヲ限リ
 職務ヲ停止ス
 重罪ニハ公権私権剝奪ノ附加刑アリ終身又ハ一年
 ヨリ十年ニ至ル迄ノ期限ヲ定メテ宣告ス其輕重都
 テ本刑ノ輕重ニ依ル
 軍律ノ刑例ハ通常刑例ニ同シ只死刑ハ銃殺ニ處
 シ禁獄ハ地牢ニ繫クノ差アルニ其外軍人規律
 ノ考メニ數種ノ刑例アリ
 瑞典國法律ニ徒流禁獄ノ刑ナシ
 ○千八百七十五年中所刑セシ人眞罪ニ其刑例左ノ如シ

犯罪	懲役	禁獄	罰金
宗旨ノ犯		二	一二七
官権ニ抵抗セシ者	七八	一八七	一四六一
治安ヲ妨害シ徒黨集衆ノ犯	三一	六二	七五二
告情不実及詐偽	八四	二	三
謀故殺	一二		
嗣殺及從	四九	八	三四
墜胎及孩兒殺	八六	一	
闘殺	二九	一七八	二一八八
闘殺場其他ノ妨害セシ者	一四	四六	一九〇
賭博			二
醉酖			一八七三九
家畜ヲ虐使セシ者			五八二

放火并ニ放火ヲ企ル者	一九		
騙欺	二	一三一	五二七
軍營中ノ盜并從	一〇		
他人ノ財産ヲ妨害セシ者	一二	八五	一六二七
官吏公罪	六九	二四四	一二八
違警違式	一	一三	二〇、三二
婚姻法ヲ犯シ若クハ猥褻ノ犯	二三	一六	一七九
竊盜并ニ從	一九〇	五一	一〇一
總計	一九〇九	一〇二六	五二九七〇
内再犯引	一八三	一三四	七、三三七
男	一四四二	八三二	四二、六五六
女	二八四	六〇	二、九五七

千八百六十六年以來死刑ニ處セラレシモノ僅ニ三人ノ
 一即チ千八百七十二年ニ一人千八百七十六年ニ二人ナ
 リ○法律上死刑ノ宣告ヲ受クルモノアルモ多クハ皇帝
 ノ特典ヲ以テ減等セラル、ヲ以テ斯ク死刑ノ少キヲ致
 セリ○死刑ハ從來公衆ニ於テ執行セシトイヘ氏以來ハ
 獄中ニ於テ執行スルトニ定ム

財政

国会ハ毎年政府ノ咨スル議案ニ依リ歳出入ノ豫算ヲ議
 定ス○瑞典國ノ財政ハ二局ニ分テ之ヲ掌管ス一ハ政府
 ノ出納局一ハ國會ノ公債局是ナリ○國ノ出納會計ハ必
 ス兩局ノ管スル所ナリ故ニ或ハ重複混淆ノ弊ナキニア
 ラス近來漸次其弊ヲ改良シ簡易ノ方法ニ赴ケリ
 例年會計豫算ヲ定ムルニ出納ノ事項通常非常ノ二類ニ

別ツ乃チ千八百七十八年、會計豫美ヲ示ス
左ノ如シ

前年度剩餘	八〇〇〇、〇〇〇
地租	四、五〇二、〇〇〇
穀税 <small>(十分一税ト云)</small>	一、六四八、〇〇〇
官有地代	二、五〇〇、〇〇〇
人頭税	六二〇、〇〇〇
罰金	二五〇、〇〇〇
燈臺燈船	一、〇〇〇、〇〇〇
郡兵士官只負	七四〇、〇〇〇
鑛道	一七、三五〇、〇〇〇
電信	一、四〇〇、〇〇〇
	(給料ノ餘金)

歳入ノ部 通常ノ部

瑞寶一ヨシハ我銀貨三十五ニ当ル

官林	一、〇〇〇、〇〇〇
雜收入	二八〇、〇〇〇
計	三一、二九〇、〇〇〇
歳入 非常ノ部	
関税	二二、〇〇〇、〇〇〇
郵便	四、八〇〇、〇〇〇
証券印紙	二、四〇〇、〇〇〇
醜耐税	一三、四七〇、〇〇〇
砂糖税	三〇、〇〇〇
財産并歳入税	三、二〇〇、〇〇〇
計	四五、九〇〇、〇〇〇
銀行益金 純益	九〇〇、〇〇〇
歳入總計瑞寶	八千六百〇九万五〇〇

此銀貨 凡二千五百八十二万七千四

歲出ノ部 大藏出納局支出ノ部 瑞貨

一 宮内省	一、二一八、〇〇〇
二 司法省	三、八三四、〇〇〇
三 外務省	六一八、三〇〇
四 陸軍省	一、九四九、四九〇
五 海軍省	六、九一一、二〇〇
六 内務省	一六、二七六、一〇〇
七 大藏省	一、七三四、〇〇〇
八 宗旨兼教育省	九、九七五、〇〇〇
九 養老金	三、一三七、五〇〇
雜出	二、六〇〇、〇〇〇
規則外	

計

公債局支出ノ部

國會諸費并會計勘正費

公債元利償却

歲出總計

此銀貨二千五百八十二万七千四

右ノ外千八百七十八年國會ノ議定ヲ以テ左ノ金額ヲ公債局ニ於テ費用スルヲ准行ス

鑄道建築	八、〇〇〇、〇〇〇
私立鑄道者ニ貸付ス	二〇〇〇、〇〇〇
公債元金償却	一、〇〇〇、〇〇〇
私立諸工業勸奨	二三八、〇〇〇
計瑞貨千一百一十三万八千三十三	一、一三六、〇〇〇

七六、七九九、〇〇〇

六一三、〇〇〇

八、六七八、〇〇〇

八六、〇九〇、〇〇〇

瑞貨

八、〇〇〇、〇〇〇

二〇〇〇、〇〇〇

一、〇〇〇、〇〇〇

二三八、〇〇〇

一、一三六、〇〇〇

例年會計豫美外ニ於テ国会ハ臨時費〔戦争鐵鏝
 額〕ノ為メ三百萬ポンドヲ政府ノ使用ニ任
 ス此金額ハ臨時必湊ニ際シ公債局ニ於テ一時
 他借ヲ為シ次ノ国会ニ於テ其償却方法ヲ議定
 スルナリ

右ノ外往古ヨリノ慣習ニテ国ノ歳出入ニ計入
 セラルモ、アリ例ハ郡兵歩騎保備入費〔毎年
 四百萬ポンドヲ下ラス〕

皇居宮殿園圃土地掃除雇人及道路修繕借侶給
 料ホナリ此ホノ金額ハ或ハ土地ニ課スルアリ
 或ハ人民協議課スルモノアリ或ハ空地借料
 ヨリ支拂フモアリ故テ違アラス

国債 或ハ公債ト云

千八百五十五年瑞典國ハ曾テ外国債ヲ起セ
 シ、ナシ只国立銀行ニ些少ノ負債アリシノミ
 ナリ

同年国会ニ於テ鐵道ヲ建築スル為メニ国債ヲ
 起ス、ナリ議定シ以來陸續内外ノ国債ヲ起シ以
 テ鐵道ヲ建築セリ国債ハ一切他ニ費用セズ

千八百七十九年ノ初メニ於テ内外ノ国債未ダ
 償却セサル分左ノ如シ

鐵道国債年度		借用国	年利	元金瑞典貨
千八百五十八年	字露生	四分五	一四、九九二、五三三	
千八百六十年	同	同	一八、〇四二、九七七	
六十一年	本国	同	二、二五七、八〇〇	
六十四年	英国	同	九、〇七六、三六八	

Self government.

六十六年	字	五分	二五、四八三、二〇〇
六十八年	英	同	二〇、二二六、六〇八
六十九年	本国	同	六七三、六〇〇
七十年	同	同	一五、五九六、五〇〇
七十二年	同	四分	一八、三九七、二〇〇
七十五年	獨逸	五分	三三、六九一、七三三
七十六年	英	同	三五、九四七、七二〇
七十八年	同	四分	一八、一六〇、〇〇〇

总计瑞貨二億千二百五十四万二千三百三十九コロン

此銀貨一四銀六千三百七十六万四千四百七十錢

右ノ内英國ニ於テ借用シタル國債ノ發行位ハ大略平均九十ナリ然レモ現今市價ハ九十ヨリ百〇四ニ至ル其他ノ發行位ハ詳ナラストイヘ

氏市價ハ大俣皆百位内外ナリ

國債ハ全ク鉄道建築ニ費用シタルヲ以テ官有

鐵道并ニ附屬品ノ原價ハ公債ノ高ニ適合スヘキ筈ナリ

千八百七十九年九月ニ於テ官有鐵道ハ一千〇七十英里アリ私有ノ分ハ二千二百八十六里アリ

〇鐵道建築費ハ每英一里最高額大略英貨一萬二千五百ポンド最卑額ハ大略四千ポンド余ニ當ル

以テ來鐵道造築致々トシテ急ラサルヲ以テ現今ハ又既ニ數百里ヲ増築セリト信ス（詳者云）

地方自治郡邑市街

瑞典國ニ於テハ郡村主自政治ノ主義ハ往古ヨ

存存セリ然レモ現今行ハル、所ノ郡村市街
 政治ノ法律ハ千八百六十二年ニ確定ス此法律
 ニ依リ各邑村并ニ大小ノ市街各一政治區ヲ為
 シ該區へ區費ヲ拂フ者ハ悉ク該地ノ參政權ヲ
 有ス每區會議所アリ議長ハ議員中ヨリ選フ但
 シ士^{ストウク}篤^{ドク}恒^{ヘン}府^フハ知事議長タリ
 此會議所ヲ邑村ニ於テハ邑會所^{アッセンブリーコミッ}
 ト云
 市街ニ於テハ大ナルモノヲ市府會所^{シビルカン}
 シルト云其小ナル者ヲ町會所^{ハカンシルホルドビル}ト
 云○現今邑會所總計二千三百五十四ヶ所市府
 及町會所九十五ヶ所アリ凡リ地方自主ノ済經
 並ニ警察ホノ事ハ皆會所ニ於テ議定ス○寺院

瑞諾ランド

Landstings

并ニ小学教育ノ事件ハ寺院會所ニ於テ主僧ヲ
 以テ議長ト為シ之ヲ議定ス○會議ノ期限ハ皆
 一處ノ規則ナシ各地要用ノ期ニ會スル者トス
 邑町ノ上ニ廿五ヶノ大政治區アリ每區各ニ行
 政委員ヲ置キ區内ノ事務ヲ掌管セシム之ヲ政
 治會所ト云^{「カンシルゼラララ」} ^{「カバノメント」} ^{「我府縣會ニ鬚鬚政治}
 會所ノ長ハ皇帝ノ命スル所ニシテ毎年九月中
 ニ集會事務ヲ施行ス○市街住民二万五千以上
 アルモノハ政治會所ノ管轄ヲ離レ市府會所ニ
 於テ市内ノ政治ヲ掌管ス現今市府會所ハ士篤
 恒外三ヶ所アリ○市府會所并ニ政治會所ニ於
 テ第一院ノ議員ヲ選^年ス

地方自治財政

小

千八百七十四年前、地方財政ノ事充分ニ整頓
 シタル者ナシ。○地方財政ハ市府町会所并ニ區
 会所ニ於テ議定施行ス。○該会所ニ於テハ、貧民
 救助衛生事務道路修繕地方裁判所及警察ヲ、
 事件ヲ議ス。○邑会所ニ於テハ、寺院僧侶及児童
 教育ガノ事件ヲ議ス。
 以上諸件ノ費用ハ都テ地方稅ヨリ支出ス。若シ
 通常ノ歲入ヲ以テ不足ヲ生スル時ハ、会所ニ於
 テ要用ナル臨時費ヲ課スルヲ得其賦課方法或
 ハ自由ノ釀金ト爲シ若ク各自ノ歲入ニ課スル
 モアリ
 千八百七十四年瑞典國地方財政出納概計左ノ
 如シ

歳入ノ部		郡村	市街 コロン
公有地代并ニ利益金		一、三三三、〇二八	二、二五二、四七五
釀金		一〇七、六二七一	二、六一四、五八
歳入及財産稅		九七、五八〇、二四	五、八七五、九二六
國庫補助 <small>（小学校ノ爲メ）</small>		一、二六一、〇五〇	二、七九、六五三
燒酎販賣稅		二二一、一二三	二、三四四、三二三
雜收		一、一五四、六二〇	六、一二〇、七四〇
計		二、四七〇、四、一〇六	一七、一三四、五七五
<small>郡村 市街</small> 合計瑞典貨三千百八十三万、千六百八十一コロン 山銀貨一圓銀 九百五十五万、千六百〇四圓三十錢			
歳出ノ部		郡村	市街 コロン
寺院保持僧侶給料		四、二八四、〇九八	九九五、七一四

小学校
貧民救助
雜出

四、四一、六五二	一、七一、二一五
四、二七、四三一	二、二一、三六六
二、〇〇、三二八	一、四、六五七、三九
一、四、九八、五〇九	一、九、五八、五、六八四

計

合計瑞貨三千四百五十八万四千九百九十三コロン

此銀貨 百銀

地方財政出納實際ノ額ハ以上記載スル所ヨリ
遙カニ上レリ例ハ僧侶給料貧民救助金ノ如
キ多クハ協議金シテ公告セサルモノアリ
同年政治会所ヨリ報告シタル同会所財政概計
左ノ如シ

歳入ノ部

公有地代并利益
貧病者救助醵金
政治会所稅財產賦課
燒酎販賣稅
雜收

五八〇、三〇
五八三、二七二
三二一、六一六
二六四、六六〇
二八一、五一七
一、五〇九、〇九五

計

此銀貨

歳出ノ部

病院保持
雜出

一、二二一、一五〇
五〇六、二四五
一、六二七、三九五

計

此銀貨

右ノ外政治会所郡村市街ニ屬スル公有財產ア

川具繁傳ニシテ且緊要ナラサルヲ以テ之ヲ畧ス

同年政治会所并ニ市邑会所ガ、於テ賦課シタル入頭并ニ財産歳入ノ概算ハ左ノ如シ

男女十八才以上八頭税ヲ出セシモノ人数	八三八九三	三二六三一
不動産賦課セシ原價コロシ	一八六、八五八、四三五	四六四、二八九、四六四
歳入賦課セシ原價コロシ	六三、六七〇、四一八	二七、五七九、二二〇

郡村市街ヲ合シテ入頭税ヲ出セシモノ總數ニ百十五万四千九百六十二人

同、不動産ノ總數所有者ノ算口ス税ヲ課セシ分
總高 瑞債二十三億二千五百十四万七千八百九十九コロシ

此銀債六億九千七百五十四万四千三百六十九圓七十錢

同歳入税ヲ課セシ分四百コロシ以下ノ者ニハ課セス又千八百コロシ以下ノ者ハ三百コロシヲ引去ル依テ賦課セサル分ハ算入セス

總數 瑞債一億八千二百二十四万九千五百三十八コロシ

此銀債五千四百三十七万四千八百六十一圓四十錢

○歳入税ハ人民ノ歳入金額ニ課スルニアラズ歳入四百コロシ以下ノ者ハ全ク除税シ其千八百コロシ以下ノ者ハ内三百コロシヲ免除シ其餘額ニ課

士篤恒府ノ住民ニ年々歳入税トシテ國税ニ納ムルモノ凡ソ百分ノ一地方税ニ納ムルモノ凡

○四百コロシハ凡ソ我債銀百三十圓千八百コロシハ凡ソ五百四十圓

ノ百分ノ四郡合一ケ年ノ歳入税ハ百分ノ五ト
為ル各郡村大同小異アリ尤國税ノ百分一ハ全
國同額ナリ

明治十三年三月

聖比得堡府ニ於テ尾崎三郎識